



新年のごあいさつ

飛驒市長
都 竹 淳 也

新年明けましておめでとうございます。日ごろより市政にお寄せいただきありがとうございます。ご支援とご協力に對し、心から感謝を申し上げます。

市長に就任してから2年が経とうとしております。「元気で、あんな、誇りの持てるふるさと飛驒市」を目標に、この間、常に現場に赴き、自らの目で見て話をするとともに、「市民と市長の意見交換会」、「移動市長室」、「市長室解放日」、「おでかけ市長室」などの機会を通して、皆様からいろいろなお話を聞かせていただきました。

その中で、改めて飛驒市の地域資源はスゴい、面白いと感じるとともに、市民の皆様への「民度」の高さに感動しております。そしてまた、子どもが減少していること、高齢者が増加していること、働く大人が減少していること、介護や製造業等の現場で人手不足が深刻になっていくことを肌で感じております。

昨年は、飛驒市に訪れたこれまでになくチャンスを活かすため、市内観光施設の改修、ロケツーリズムの推進、また、山城跡の学術研究を行い、専門家を招いた座学や現地ガイドツアーの開催など、山城の魅力を広く伝える取り組みなどを行なってきました。そして、小さなまちづくり応援事業や、飛驒みんなの博覧会など、まちづくりの支援を通じて体験プログラムを市民の皆様のご協力をいただきながら実施することができました。加えて、旧神岡鉄道の客車「おくひだ1号」の10年ぶりの走行や日本ロストライン協議会の設立、そして、江馬氏館跡庭園の名勝指定など、うれしい話題もたくさんありました。

いよいよ新年には、道の駅宇宙ドームにて計画中の宇宙物理学研究紹介展示施設の工事に着手をいたします。また、レールマウンテンバイクは、新コースが供用開始となります。アニメ映画「君の名は。」の大ヒットによって、飛驒市を知り、来訪されるお客様が増えておりますが、古川町に加えて、神岡町の魅力をもより味わっていただけるための事業も次々と進んでいます。今後も、地域資源を掘り起こし、磨き上げながら、話題性のある取り組みを進め、飛驒市の名を広めて行きたいと思っております。

また、新年は、「あんき」に暮らせる飛驒市をつくるための取り組みを最重要課題として、様々な事業を展開したいと考えております。

昨年は、地域の医療と介護を守るため、介護人材の確保など全国初や県内初となる取り組みを展開し、市民のみなさんが安心して暮らすことのできるまちづくりを進めてきました。これにより、離職者が減少し、介護職員の誇りとやる気を呼び起こすことがで

きましたが、依然、医療人材の確保は喫緊の課題であります。在宅医療体制を強化するための体制整備と併せて、いようなアプローチを行ないながら事業を進めていきたいと思っております。75歳以上人口のピークを迎える平成37年を見据えて、健康寿命の延伸に向けた取り組みや、これまで大きな問題意識がありながら未着手であった生活困窮者の支援策にも着手したいと思っております。

今年も、市民の皆さま方からいただいたご意見を、常に前向きな姿勢で受け止めながら、スピード感を持って挑戦してまいります。人口減少、少子高齢化の進行する中にはありますけれども、どうぞふるさと飛驒市の未来に希望を持っていただいて、引き続きお力をお貸しいただければ幸いです。

新しい年が皆様にとって幸多き年となりますことを心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



誇りのもてる飛驒市へ

飛驒市議会議長

葛 谷 寛 徳

あけましておめでとうございます。輝かしい新春をご家族お揃いでお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

年頭にあたり、市議会を代表し新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、平素から議会運営や議会活動に対し、温かいご支援、ご協力を賜り心から御礼を申し上げます。

今年は、明治維新から一五〇年。平成の元号が最後の年度となる節目の年です。三年目を迎えようとしている都竹市政は、活気あふれる飛驒市に向けて、着実に一歩一歩前進していると

昨年は、何と言っても旧古川町時代から二十年以上交流してきた台湾・新港郷と飛驒市が初めて、友好都市として締結できた事です。

当日は、相互の伝統文化を紹介。芸能公演では、飛驒市と新港郷の関係者が共演し、起し太鼓のどんばや、きつね火まつりなど披露され、多くの参加者が大声援に包まれる中、温かい歓迎を受けました。

今後は更に、観光やまちづくりを通して連携し、お互いの交流を深めていくことにしています。

神岡町にある道の駅「宙ドーム」では、「スーパークミオカンデ」など、東京大学宇宙線研究所の研究など紹介する施設を来春の完成を目指して整備を進めています。

又、新たなニュートリノ観測装置「ハイパーカミオカンデ」計画を推進するため、次世代ニュートリノ科学連携研究機構が発足し、八年後の実験開始を目指されています。

福祉では、飛驒市が直営する児童精神科の診療所「こどものこころクリニック」が古川町に開所されました。市が国保診療所を開設運営するのは全国初めての事です。

全国的に医師は不足しており、

非常にニーズが高い中で、発達障がいや不安定な子どもたちを支援する拠点として、大いに期待されています。

江馬氏館跡庭園が、岐阜県内で初めて国の「史跡」と「名勝」の二つに指定されました。又、姉小路氏が居所として伝わる城館群は、国史跡の価値があると考え、国に申請をすることになっています。

このように、飛驒市が誇れる豊かな地域資源を生かし、新たな魅力づくり、地域づくりを積極的に進める事が、任んでみたい町、行きたい町に繋がると考えます。

飛驒市にとって、人口減少や少子高齢化など厳しい状況が進む中では、「人、物、金、情報」を積極的に取り入れる必要があります。

そのためにも、自ら取り組みとする「小さなまちづくり」グループの活動を掘り起こし、育成や支援をしながら、更にグループ同士の連携を密接にする事が大切です。又、子育て支援を充実させ、共働きしやすい環境をつくる、都市に就職した若者を呼び戻すなど、積極的に前へ進めて参ります。

ユネスコ無形文化遺産の登録を受けた古川祭と関係自治体によるネットワークで、広域連携

を進めお互いの観光振興のために交流を深めて参ります。

長年の懸案であった国道四十一号の神岡町船津から割石間の道路新設が着工、又、古川清見線の平岩工区が開通しました。これらのことは、観光・産業の発展に大いに貢献するものです。

農業関係においては、飛驒市の米が世界が認める最高位金賞を受賞するなど食味が認められ、又、山之村寒干し大根が岐阜県で初めて国がブランドとして保護するG-1に登録されました。

又、全国和牛能力共進会では、後継者部門で最優秀賞を受賞し、担い手育成と将来の畜産業界に光を与えてくれました。

議会では、市民との意見交換会や管外視察、又、積極的に講師を呼び勉強会を開催するなど政策提言に生かしている所です。今後更に信頼され、より開かれた議会の実現を目指し努力して参ります。

結びに、新しい年が市民の皆様にとりまして、幸せて実り多い年となりますこと、議員一同、心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。